

八戸横丁アートプロジェクト 酔っ払いに愛を

横丁オンリーユーシアター

日々、人生劇場が繰り広げられる横丁。
秋の宵、そこに本物の劇場が現れる。
扉の向こうに待っている異空間。
そこに佇む人生との出会い。
横丁が持つ魅力を可視化する
ショート・パフォーマンス・フェスティバル。

2010.9/3.4.10.11

はっちオープニング特別事業 & アサヒ・アート・フェスティバル参加事業



Program 1. 横丁オンリーユーシアター「扉の向こう」

9月3日(金)・4日(土)・10日(金)・11日(土)の4日間、横丁に3つの仮想シアターを出現させた。それぞれのシアターで、ダンス・落語・芝居のショート・パフォーマンスを上演し、観客にハシゴしてもらおうという初めての試みを行った。

オーナーのご協力を得て横丁の空き店舗をお借りして清掃し、市民有志とともに劇場空間として整えた。訪れた人々のつぶやきが降り積もるような古い酒場の空間で、5組のアーティストによる15分～30分のパフォーマンスが各組1日3～4公演繰り広げられた。劇場になった横丁の空間は、その日、まさに妖しい輝きを放つ異空間だった。懐かしさが漂う横丁だからこそ、短い演技でも、観客の人生に重なる瞬間が容易に創り出せる。八戸のこの横丁こそ、人生劇場を語るにふさわしい、唯一無二の劇場空間になりうることを、この4日間が再発見させてくれた。



“場”の力を 可視化する パフォーマンス アーツ



本番前に地元IT関連会社のトライボットのUstream番組でPR活動を行う齊藤氏(右)と・2010年の出演ダンサーをコーディネートして下さった業の会 清水永子さん(右から3番目)



齊藤栄治

(コンテンポラリーダンス)

シアター1・「ダンス小屋」@五番街

八戸の中心街にある8つの横丁には、昭和の匂いが色濃く残る。小さな店がひしめきあう横丁は、秘密めいた異空間である。
秋の初め、その横丁を市民と協働で、劇場にする。15分程の短いダンス作品、芝居、30分程の落語や漫談などで、同時多発的に横丁の夜をにぎわせる。「酔っ払いに愛を」横丁オンリーユーシアター」と題されたこのプロジェクトは、今なお継続中である。
2年連続してご出演いただいている、コンテンポラリーダンサーの齊藤栄治さんのシアターの前で2010年、こんなことがあった。
通りかかった出張中という二人連れのほろ酔いサラリーマンに、スタッフがダンスを見ていないかかと声をかけた。「ダンス?何それ?そんなのいいよ。」という彼らを、半ば強制的に5メートル四方ほどのカウンターがある小さな店に誘った。齊藤さんが、カウンターに登場。店のスペースをフルに活かして、酔った男の心象を踊る。電飾を身体に巻き付けたかと思えば、ジャケットを羽織っての酔態。ラストには、店の戸口にある数段の急な階段をころげ落ちる荒技まで飛び出した。



観客にビールを勧める。観客との距離はきわめて近い。



切れ味のよいダンスから酔った男のものの悲しさが伝わる。



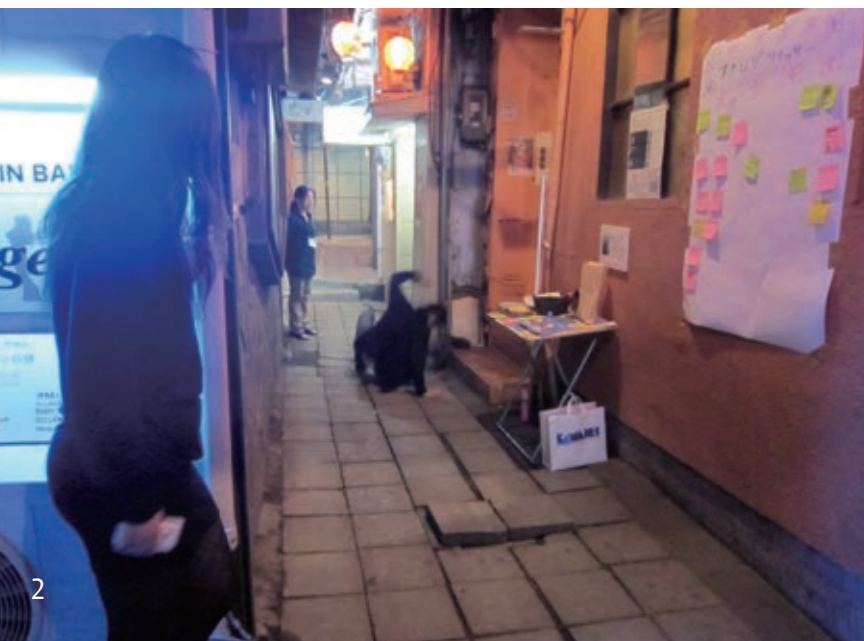
ラストシーンの階段落ち。



五番街に転げ落ちる齊藤氏。

突然店から転げ落ちてきた男に、電話をかけたに出ていた五番街のお店の女性の声が止まった。「酔っ払いに愛を」の2日間は、横丁にさまざまなハプニングが起こる。

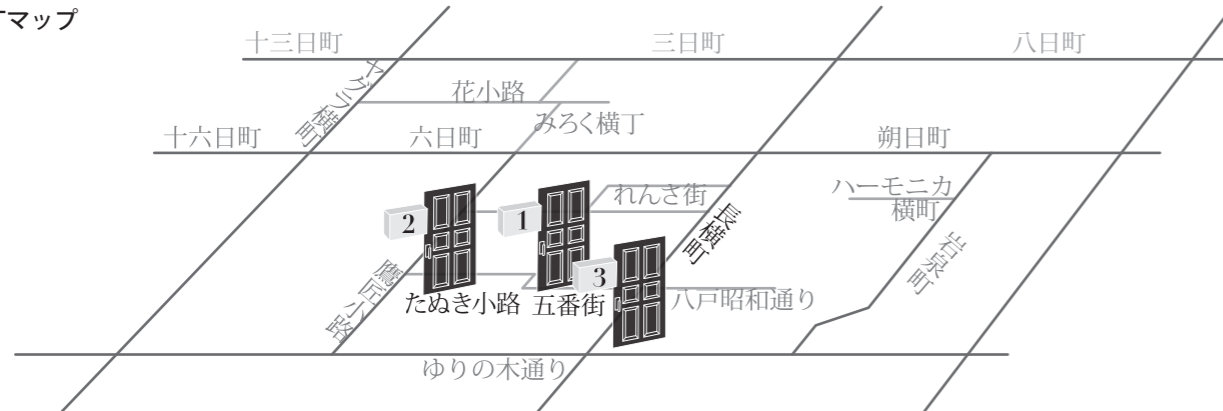
15分後、店を出て来たサラリーマンたち。すっかり表情が変わっていた。目を輝かせながら、熱心に感想を書き、千円札のカンパまでしていつてくれた。酩酊する男の孤独やせつなさに、自分自身が重なったのかもしれない。そんな時、地方の横丁の小さな酒場が、その人にとって特別な場所になる。「場」の持つ力が、アーティストたちによって引き出され可視化されたのである。
八戸の横丁が、ショートパフォーマンス・フェスティバルで世界に名だたる場所になることを夢見つつ、横丁の店主たち、経営者、市民ボランティアとはっちとが、協働して運営を続けていきたい。



■2010年「酔っ払いに愛を」公演スケジュール

| 会場 | アーティスト | 18:00 | 18:30 | 19:00 | 19:30 | 20:00 | 20:30 | 21:00 | 21:30 |
|-------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| theater1 ダンス小屋 | 9/3 ほうほう堂 | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● |
| | 9/4 ほうほう堂 | ● | ● | ● | ● | — | — | — | — |
| | 9/10・11 斉藤栄治 | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● |
| theater2 落語小屋 | 9/3・4・10・11 大地球 | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● |
| theater3 芝居小屋 | 9/3・4 M&B | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● |
| | 9/10・11 十日市秀悦 | ● | — | ● | — | ● | — | ● | — |

■横丁マップ



■アーティスト・プロフィール

ほうほう堂
新舗美佳と福留麻里による身長155cmダンスデュオ。これまでに国内外20都市の劇場や美術館など、様々な場所で作品を上演している。最近では特に、廊下や階段、カフェ、巨大サボテンの前など、劇場を飛び出し日常的な場所でも踊り、新しい空間、人、気分に出会う事を楽しんでいる。その様子は月に1度、映像でウェブ上に公開中!
http://hoho-do.net 写真:新井梨里子

斉藤栄治
小池博史パフォーミングアーツ研究所卒業。「伊藤キム+輝く未来」に参加。M-laboratoryや日韓ダンスコンタクトで韓国の女性ダンサーとのデュオ作品を発表するほか、ソロでの創作活動も行っている。現在、まことクラブで活動中。

大地球
八戸市出身。落語愛好家。中学時代から落語の魅力にとりつかれる。見る者の笑いを誘う、毒舌交じりの語り口が特徴で、学校や公民館などの公共施設から夜の酒場まで、幅広いシーンに引っ張りだこの人気パフォーマーである。しかしそんなイメージとは裏腹に夜のお酒は苦手、もっぱら「ジャスミンティー」が好みという。

十日市秀悦
八戸市出身。映画館が軒を連ねる、横丁のど真ん中で育つ。日本芸術学部映画学科卒業後、俳優梅辰夫に弟子入りし付き人となる。お笑い芸人・レポーターと幅広い分野で活躍し、14年前から「イサバのカッチャ(朝市のカッチャ)」などふるさと青森にこだわったひとりコントライブを行っている。

M&B
本プロジェクトのため結成された特別ユニット。「M」は、八戸市内芝居関係者の中でも有名で、そのあまりに笑撃的な演技は伝説として語り継がれている。「B」は、自宅兼芝居小屋【SpaceBEN】を持ち、毎週金曜日にひとり芝居を開催している。

※プロフィールは2010年9月時点のものです。
※チラシより一部転載

Program 2.
へえへえウォーキングツアー [横丁編]

横丁でお店を営む方々が培ってきた知恵や技、「へえ〜」とうなりたくなるお話に触れるナイトウォーキングツアー。横丁のディープな魅力と出会いを楽しんだ。

- 協力店舗(順不同・敬称略)
- ・ごめ(八戸昭和通り)
 - ・みのり(鷹匠小路)
 - ・Namaste(ハーモニカ横町)
 - ・プリンス(長横町れんさ街)

2010年9月2日(金)・3日(土)・4日(日)・10日(金)・11日(土)
主催:酔っ払いに愛を実行委員会・八戸市(八戸ポータルミュージアム)
八戸の中心街に位置する8つの横丁。かつて文化の発信基地であった横丁の小さなお店を劇場に見立て、ダンス、芝居などのパフォーミングアーツの公演を行った。一晩に複数回の公演が、複数の会場で同時多発的に行われ、観客は各公演を「ハシゴ」しながら、横丁の奥深い魅力を楽しんだ。

- 出演者 ほうほう堂、斉藤栄治、十日市秀悦、大地球、M&B
- 来場者数 延べ980人

Theater 2



大地球
(落語)

シアター2・
「落語小屋」@たぬき小路
出演アーティスト:大地球

八戸市在住の落語愛好家、大地球さんによる4日間、全28公演の小話パフォーマンス。「人生劇場」をテーマに、毎回異なるストーリーが語られ、その独特の語りと迫力が多くを魅了。親子での来場者もあった。



theater1 ほうほう堂
(コンテンポラリーダンス)

シアター1・「ダンス小屋」@五番街
出演アーティスト:ほうほう堂・斉藤栄治

横丁でのさまざまな人生の断片を2組のコンテンポラリーダンサーが表現。衝撃的ともいえるダイナミックな熱演に何度も足を運ぶダンスファンや、ダンス初鑑賞のビジネスマンなど、それぞれが感動と愛を持ち帰るものとなった。

THEATER 3

シアター3・「芝居小屋」
@長横町ムーンプラザ
出演アーティスト:
M & B・十日市秀悦

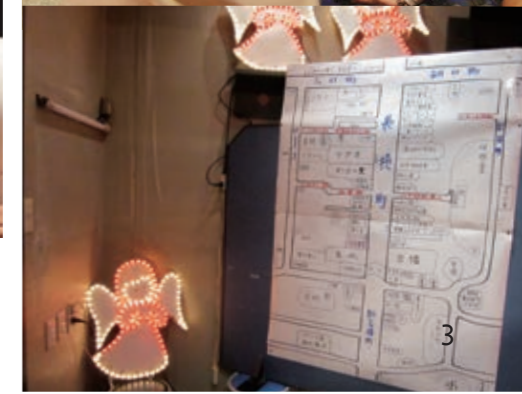
かつて映画館が林立していた長横町を舞台に、八戸市在住のM & Bと、「イサバのカッチャ」の扮装で活躍中の十日市秀悦さんの2組が独創的なパフォーマンスを展開。
横丁で生まれ育った十日市さんの「十日市食堂の出前箱」は、十日市氏自らが手書きで模造紙に描いた昔の長横町の地図をネタにした漫談が爆笑を誘った。
M & Bの芝居「ひどい日」では、サラリーマンの悲哀が多く共感を誘った。



十日市秀悦 (芝居)



M&B (芝居)





齊藤栄治

(コンテンポラリーダンス)

2011.9/2.3.4

アサヒ・アート・フェスティバル参加事業

市民協働のフェスティバルへ

2011年は、さらに横丁に関わる方々、シアター運営を支えてくださっている市民のみなさんとの協働を進展させることに重点を置いた。横丁のみなさんにも、「横丁オンライン・ユースシアター」の開催について共通認識を持っていただけるように、チンドン芸能社に横丁を回遊していただき、パフォーマンスが行われていることをお店の方々に感じていただけるようにした。

八戸出身の磯島未来さんは、人通りの多い長横町に面したガラス張りの店内でひとりの観客を空間に引き入れながら演じた。また、飯田竜太氏と八戸短期大学の学生たちによる折り紙のインスタレーションが人々を引きつけた。

齊藤栄治さんは前年に引き続き、観客の心を釘付けにし、場の力を体感させるパフォーマンスで好評を博した。



2011年9月2日(金)・3日(土)・4日(日)

主催：酔っ払いに愛を実行委員会

八戸市(八戸ポータルミュージアム)

【横丁公演】9月2日(金)・3日(土)

18:00～22:00 @横丁内の4つの会場

【はっち公演】9月4日(日)

14:00～16:00 @1階はっちひろば

17:00～@2階船の近く

ダンス、落語、芝居の演者4組が4つの店で15分～20分程度の演技を行った。観客はプログラムを片手に好きな順番で4つの劇場をハシゴする。

■入場無料

■会場 五番街元「ぼんそわーる」

鷹匠アレイ1階「テルミー」

長横町れんさ街「洋酒喫茶プリンス」

長横町ポストコアビル1階入口

■出演者 齊藤栄治、磯島未来、十日市秀悦、大地球、チンドン芸能社

■来場者数 延べ1,020人



十日市秀悦さんの漫談の途中で乱入したチンドン芸能社。ハプニングもすかさず笑いに変わる十日市さんの妙技を堪能した。十日市さんはお店のママを会場に招待。「終了後、ママのお店に行きましょう」と呼びかけるなど、横丁の人々との連携を深めるきっかけも作っていただいた。

酔っ払いに愛を実行委員会実行委員長で、八戸横丁連絡協議会事務局長の月館裕二さん。長横町のビルのオーナーでもある月館さんは、八戸の横丁に、新しいエネルギーを吹き込んで、横丁が持つ魅力、地力、底力を活かした活性化を実現したいと考えている。



当日の運営や事前準備について話し合った実行委員会。

●実行委員長 月館裕二（有限会社栄商事） ●副実行委員長 佐々木康之（オリエンタル酒販株式会社）・松井正文（有限会社大松） ●監事 楢館知（株式会社なら弥） ●委員 中山康人（PFF Award 2011）・外和雅彰（企業組合ユキパル）・岩岡徳衛（株式会社岩徳） ●顧問 中居雅博（八戸横丁連絡協議会）・類家徳昌（八戸中心商店街連絡協議会） ●アドバイザー 小林隆一（八戸市中心市街地活性化協議会）・小野剛史（株式会社小野画廊）・塚原隆市（株式会社ビーエフエム）・米内安芸（市民アートサポートICANOF）・高橋晃（八戸市文化財審議委員） ※所属は2011年9月時点のものです。

■来場者コメント

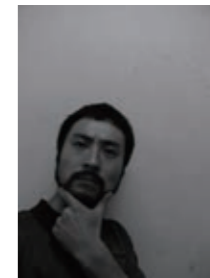
- ・（ダンス）最初何かよく分からなかったけど、最後はただただびっくり！新しいものを見た！という衝撃！
- ・（ダンス）ひとりでも、やればなんでもできるんだ、って勇気をもらいました。
- ・（芝居）久しぶりに笑った！なつかしい話に引き込まれました。横丁っていいね。



横丁を何度もロケハンし、よさそうな空間を見つけては持ち主と交渉して会場が決まる。決定後は片付け、清掃。その後、出演者と作品演出について話し合い、店は劇場と化していく。

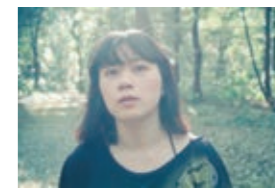
●出演者プロフィール

※プロフィールは2011年9月時点のものです。



斉藤 栄治（ダンス）

1973年生まれ。長野県出身、東京在住。23歳から踊り始める。小池博史パフォーミングアーツ研究所卒業。2000年から2005年まで「伊藤キム+輝く未来」に参加。その後、M-laboratoryなどのカンパニーに参加したり、青山劇場で行われている日韓ダンスコンタクトで韓国の女性ダンサーとのデュオ作品を発表するほか、ソロでの創作活動も行っている。現在、まことクラブで活動中。2010年、パフォーマンスグループ「世界装置」結成。2010年に続き出演。



磯島 未来（ダンス）

八戸市出身。中村美枝子に師事。上京を期に「黒沢美香&ダンサーズ」に参加。04年ダンスユニット「ピンク」を結成、国内外11都市にて作品を発表。08年文化庁・新進芸術家海外留学制度の研修員としてドイツ・ベルリンに滞在。自身の作品を発表するほか、Sebastian Eilers等の作品に出演。10年秋に帰国。

横丁で「オンリー・ユースシアター」の開演を触れ回るチンドン芸能社のパフォーマンス。



十日市 秀悦（芝居・トーク）

八戸市長横町生まれ。映画館が軒を連ねる、横丁のご真ん中で育つ。日本大学芸術学部映画学科に進み、在学中に俳優梅宮辰夫の付き人となったのち、「ひょうきん予備校」でデビューする。役者・お笑い芸人・ナレーター・レポーター・と幅広い分野で活躍し、14年前からふるさと青森県にこだわったひとりコントライブを始める。有名な「イサバのカッチャ（朝市のカッチャ）」はこのライブの中から生まれた人気キャラクター。2010年に続き出演。



大地球（落語）

八戸市出身。落語愛好家。中学時代から落語の魅力にとりつかれる。見る者の笑いを誘う、毒舌交じりの語り口が特徴で、学校や公民館などの公共施設から夜の酒場まで、幅広いシーンに引っ張りだこの人気パフォーマーである。しかしそんなイメージとは裏腹に夜のお酒は苦手で、もっぱら「ジャスミンティー」が好みという。2011年「第2回仙台あまちゅあ落語こんてすと」優勝。



チンドン芸能者（チンドン）

東京是老舗のチンドン屋「小鶴屋」で修業したさん休と、「瀧乃家五朗八」「みどりや」で修業した美香（八戸市出身）の夫婦チンドン屋が率いる、チンドン太鼓を全面に押し出したスタイルで、東京のチンドン屋の伝統を現代に甦らせる、下町チンドン一座。全国各地の宣伝・イベントに活躍中！今回は横丁のさまざまな場所に出没し、にぎやかな演奏で4つのシアターにみなさんを誘います。

横丁に来ると、相手と近い距離で話ができる。人懐こいマスターやママの応対に、かしこまる気持ちや警戒心がちょっとだけ解き放たれる。私は、時に自分をそんな気分にいざなってくれる横丁が大好きだ。

「横丁オンリーユースシアター」では、ダンサーや役者たちが狭い店の中でパフォーマンスを行う。大きな劇場とはひと味違う、演者の迫力を味わえる。ダンサーの斉藤栄治さんは、実際にビールを何本も飲みながら酔っ払いを演じたり、階段から落ちたりする。しかも目の前で。「いるよね、こういう酔っ払い・・・」という感じで、見ていて切ない気分になる。一方、横丁生まれの役者・十日市秀悦さんは、当時の横丁のおもしろ話を再現し、人々を笑いに引き込む。この、感情の触れ幅の大きさに、哀しいこともあれば、楽しいこともある！これぞ横丁、いや人生の醍醐味を体現しているのではないのでしょうか。

これからも「酔っ払いに愛をく横丁オンリーユースシアター」は、全国から、いや世界中からアーティストや酔っ払いのみなさんが訪れるフェスティバルを目指して、活動を続けていきます。と、熱く語っていたら、今夜も横丁に行きたくなってきたよ・・・。

今川和佳子
（企画運営グループ・コーディネーター）



はっち2階に展示してある船を舞台に行われた磯島未来さんのパフォーマンス。鮫出身の磯島さんが、狭い船の上の空間で、ミニマムで力強いダンスを繰り広げた。あらゆる場所がダンス空間に変貌し、また、ダンサーがかかわることで、風景の持つ意味が劇的に変わることを体感した。



●2011年「酔っ払いに愛を」公演スケジュール

| | Theater1 ダンス小屋1 | Theater2 ダンス小屋2 | Theater3 落語小屋 | Theater4 芝居小屋 |
|-------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 18:00 | ● | - | - | ● |
| 18:30 | - | ● | ●小断 | - |
| 19:00 | ● | - | - | ● |
| 19:30 | - | ● | ●小断 | - |
| 20:00 | ● | - | - | ● |
| 20:30 | - | ● | ●落語 | - |
| 21:00 | ● | - | - | ● |
| 21:30 | - | ● | - | - |

八戸横丁
酔っ払いに愛を
横丁オンリー・ユー・シアター
2011

●横丁マップ

はっち ダンス公演 <観覧無料>

9.4日

- 14:00～/15:30～『ちどり足の栄治』 @1階・はっちひろば
出演：齊藤栄治・ちどり足コミュニティダンサーズ
横丁公演にも出演するダンサーの齊藤栄治と、市民ダンサーズがともにワークショップで作上げるダンス公演。齊藤のダイナミックな動きとシンクロする市民ダンサーズの熟演がみどころ。
- 17:00～ 磯島未来 ダンスパフォーマンス @2階・船の近く
出演：磯島未来
ダンサー・磯島未来が、はっち館内にちりばめられた観光展示の空間を生かしながら踊ります。八戸市鮫町出身の彼女だからこそ創り出すことができるパフォーマンス。そこに込められた、八戸への想いとは？



横丁
オンリー・ユー
シアターMAP

●入場方法/期間中、無料チケットを下記にて配布します。お渡しする時に観覧場所と観覧時間をご案内します。
ムーンブラザ1F / 17:00-21:30
はっち1F インフォメーション / 9:00-21:00 配布
※横丁シアターは小さな空間です。公演各回のチケット数には限りがございます。あらかじめご了承ください。

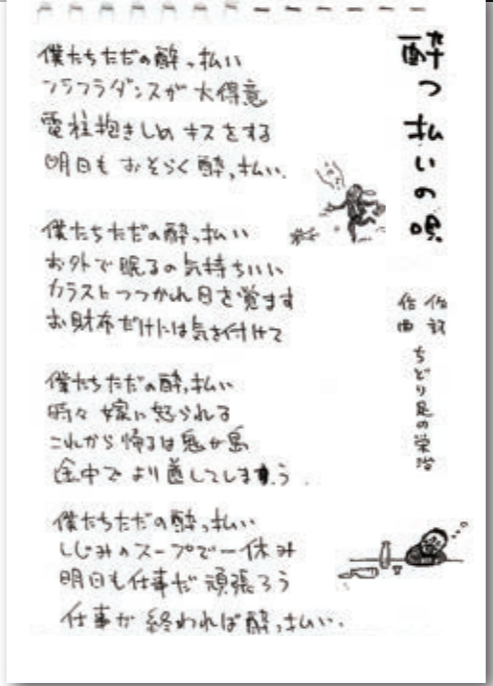


ロード・魚屋金兵衛2階「宴会場」
●出演：大地球（落語）
新旧大型飲食店が立ち並び、かつてここに半屋があったことからその名のついた「ロード」。その石畳を進むと見えてくる人気居酒屋店の2階に、多くの酒宴が繰り広げられてきた宴会場があります。登場するのは八戸出身の落語愛好家・大地球。痛快な語り口に乞うご期待。
●公演時間：18:30/19:30/20:30

五番街・元ボンソワール「看板のない店」
●出演：齊藤栄治（コンテンポラリーダンス）
八戸の横丁の中でも、もっともディープな雰囲気がある五番街。タイムスリップしてしまいそうな狭い小路の一角に、かわいい窓が三つ並び謎めいた店があります。扉の向こうに待っているのは、昨年同会場に登場した齊藤栄治。男のドラマが待っています。
●公演時間：18:00/19:00/20:00/21:00
(上演時間約15分)

長横町ポストコアビル「ガラス張りの店」
●出演：磯島未来（コンテンポラリーダンス）
小さい横丁と横丁をつなぐ大通り「長横町」。ビルの一角に郵便局があることからその名の付いた「ポストコアビル」1階の、ガラス張りのおしゃれな空間。このガラス箱の中で、八戸出身の女性ダンサー・磯島未来が魅惑的なパフォーマンスを見せます。
●公演時間：18:30/19:30/20:30/21:30

長横町・ムーンブラザ1階「元・北石」
●出演：十日市秀悦（芝居・トーク）
小さい横丁と横丁をつなぐ「長横町」。その通りでもっとも多くのお店が集まるビル「ムーンブラザ」の1階奥に和風な入口があります。登場するのは横丁生まれの十日市秀悦。人間って、なんてちっぽけなんでしょう。人間って、なんてかわいいんでしょう。扉の中で繰り広げられる人間ドラマが、あなたに元気をくれるはず。
●公演時間：18:00/19:00/20:00/21:00



▲齊藤さんが描いた「酔っ払いの唄」の歌詞カード

9月4日(日)はっちひろばで行われた齊藤栄治さんのパフォーマンス『ちどり足の栄治』。市民ダンサーズが参加したほか、「南郷アートプロジェクト」でレジデンスしていたコンテンポラリーダンサー 森下真樹さんも飛び入り出演。観客や客席にいた市長まで、いつのまにか「ちどり足」ダンスで即席ダンサーズになって楽しんだ。齊藤さんが作詞作曲した『酔っ払いの唄』をみんなで大合唱した。

